

## 幼稚園はお便りを通して何をどのように保護者に伝えているのか：運動会のお便りの分析を通して

著者	箕輪 潤子, 秋田 喜代美, 中坪 史典, 砂上 史子, 高木 恭子, 辻谷 真知子
雑誌名	武蔵野教育學論集
号	5
ページ	201-217
発行年	2018-09-30
URL	<a href="http://id.nii.ac.jp/1419/00001046/">http://id.nii.ac.jp/1419/00001046/</a>

# 幼稚園はお便りを通して何をどのように 保護者に伝えているのか

～運動会のお便りの分析を通して～

Analysis of content and styles on newsletter:  
What and how preschool teachers describe sports day

箕輪 潤子<sup>\*</sup>  
MINOWA Junko

秋田 喜代美<sup>†</sup>  
AKITA Kiyomi

中坪 史典<sup>\*\*</sup>  
NAKATSUBO Fuminori

砂上 史子<sup>††</sup>  
SUNAGAMI Fumiko

高木 恭子<sup>\*\*\*</sup>  
TAKAGI Kyoko

辻谷 真知子<sup>†††</sup>  
TSUJITANI Machiko

## 問題と目的

2018年4月に施行された幼稚園教育要領<sup>1)</sup>には「家庭との連携に当たっては、保護者との情報交換の機会を設けたり、保護者と幼児との活動の機会を設けたりすることを通じて、保護者の幼児期の教育に関する理解が深まるよう配慮するものとする」とある。保育所保育指針<sup>2)</sup>や幼保連携型認定こども園教育・保育要領<sup>3)</sup>においても「保護者が子どもの成長に気づき、子育ての喜びが感じられるよう」と記載されている。このことから、幼稚園や保育所などにおいて、保護者が幼児教育や保育、子どもの育ちについて知る機会を持つことが重要であるとわかる。

\* 武蔵野大学教育学部 \*\* 広島大学 \*\*\* ソニー教育財団 † 東京大学大学院 †† 千葉大学

††† 白梅学園大学 日本学術振興会特別研究員 (PD)

保護者に幼児教育や保育、子どもの育ちなどを伝える機会として、保護者会や送迎時など直接話をする他、連絡帳<sup>4)5)</sup>やお便り<sup>6)7)8)</sup>、Web<sup>9)10)</sup>などがある。ベネッセの調査<sup>11)</sup>によると、園からの情報が「とても参考になった」と保護者が回答した比率が最も高かったのは、個人面談や送迎時の職員との会話であり、次いで園便りや学年便り、クラス便りであった。このことから、保護者にとって、お便りは園や子どもの育ち、子育ての情報を得る上での重要な媒体となっていると考えられる。お便りについて、田中ら<sup>12)</sup>は幼児が園生活を送る上で必要な情報を伝達する、幼児の園生活の様子を保護者に伝えるといった様々な役割を果たしていると指摘し、幼稚園から保護者に様々なメッセージを伝えるコミュニケーション・メディアのひとつであると述べている。

保護者とのコミュニケーションを取るためのメディアは、読み手として、園に通う子どもの保護者を想定した媒体から、地域・保育者を目指す学生・就職希望者・就園前の家庭・祖父母など広く一般までを想定した媒体があると考えられる。また、内容については、個々の子どもについての個別具体的な内容から、幼児教育・保育の一般的な内容まで想定される。例えば、対面で直接話す機会では、園の保護者を対象とした個別具体的な内容が語られるのに対し、Webでは一般の人たちを対象として園や園生活の概要がわかるような内容が語られる。その点で、お便りは園やクラスの保護者に向けて書かれている。個々の保護者との直接的なコミュニケーションとしての個人面談や連絡帳とも、保護者の他にも未就園児の保護者等多様な宛先が想定されるWebとも異なる。また、園の保護者にとっての「知りたい情報」「知るべき情報」について配慮しつつも、幼稚園が独自のスタンスで意図的に編集している<sup>13)</sup>。そのため、保護者がクラス便りを読み、保育者の目を通して子どもの姿を知ること、子どもを見る目が豊かになっていく可能性があるという指摘もある<sup>14)</sup>。3園のお便りを分析した太田ら<sup>15)</sup>は、保護者がお便りの発行回数を増やして欲しいと考えていることや、読んだ保護者が家庭内で感想を述べ合っていることなど園からの情報を伝達する機能を果たしていると述べている。このようにお便りは、園や保育者の視点を園に通う子どもの保護者に宛てて伝えるツールとしての特徴をもっていると言える。しかし、お便りの研究は、お便りの構成要素に着目した研究<sup>16)</sup>や時期によって記載事項が変化していくことに着目した研究<sup>17)</sup>はあるものの数は少ない。保護者の幼児期の教育に関する理解が深まるよう配慮すること<sup>18)</sup>や、保護者が成長に気づき子育ての喜びが感じられるようにすること<sup>19)20)</sup>が求められている今、保護者にとって子育ての参考にしている割合が高いお便りについて研究することは重要であると考えられる。特に、園が子どもの姿や保育のねらいや意図

をどのように伝えているかを検討することで、保育者の専門性の一端を明らかにできると考える。

園がお便りを通して子どもの姿や保育のねらいや意図をどのように伝えているかを検討する際に、特定の時期や行事などに焦点をあてることで、園の視点がより明らかになると考えられる。特に行事は当日だけでなく、行事当日へ向けて仲間同士で葛藤したり協力したりし合いながら準備活動を行なっていくことで、幼児たちの育ちがもたらされることが期待されている<sup>21)</sup>。園により教育目標が異なるため、同じ行事や活動でもその意味や、伝えたい内容や伝え方が異なると考えられる。本研究では、園によってお便りの内容がどのように異なるのかを検討するために、特定の行事に関するお便りに焦点を当てて検討する。

行事の中でも、特に運動会はどこの園でも行われている行事であり<sup>22)</sup>、園にとっては子どもの育ちや園の教育・保育の意図を伝える重要な機会になっていると考えられる。

学校行事としての最初の運動会は、1874年に海軍兵学校寮で開かれた競闘遊戯会であり<sup>23)</sup>、1880年台半ば頃から1890年代にかけて急速に広まっていた<sup>24)25)</sup>。幼稚園の運動会は小学校や上級学校と共に実施することが多かったが、少しずつ幼稚園は独自に運動会を行い始め<sup>26)</sup>、昭和30年代になると幼児の特性に基づくものとして実施されるようになっていった<sup>27)</sup>。近藤ら<sup>28)</sup>は運動会について「園児が日ごろどの程度運動してきたか、その程度運動能力がついたのかを力いっぱい表現する行事であり、運動会のねらいの本質は、ルールを守ることの大切さや協力することの楽しさを知るとともに、子どもが自分のがんばる力にどのように挑んでいくかという場を与える行事である」と述べている。

その一方で、運動会は子どもたちの運動を大人が見守ることで成長を共に喜びあう行事<sup>29)</sup>でもある。特に保護者にとっては、我が子の運動能力をどの程度開発してくれたかを見届ける絶好の機会であり、運動会に保護者の期待が集まりやすい行事でもあることが指摘されている<sup>30)</sup>。運動会の参加者についての調査では、調査対象園全てで運動会に家族が参加していることや、1家族あたり5.4人が運動会に参加していること<sup>31)</sup>など、運動会は行事の中でも特に参加する保護者も多い行事であると考えられる。保護者が参加することが多く、期待が高い分、幼稚園や保育所にとっては、当日にこれまでの練習の成果から子どもの成長を保護者と共に喜ぶ機会であると同時に、結果としての育ちだけでなく、運動会当日までの日々のなかで子どもが育っていく過程や、園における運動会のねらいや意図を伝えることで、保護者に園の教育・保育を理解してもらう機会にもなると考えられる。

以上のことから、本研究では、運動会前後のお便りにおいて、幼稚園がどの

ように子どもの育ちを伝え、保護者に運動会への参加を促しているのかを検討する。お便りにおける運動会とその前後の保育に関する記述に焦点を当て、取り上げられている内容を整理した上で、①幼稚園のお便り（園便り・クラス便り）において運動会についてどのような内容が記載されているのか、また園により記載の内容にどのような違いがあるのか ②運動会にかかわる記載で、どのような文章の書き方の工夫をしているのかを、文末表現に着目して検討する。

## 方法

【研究協力者・調査方法】共同研究者が各園に研究の趣旨を説明した上で、関東・関西・中国地方の公立・私立幼稚園 12 園（以下、園は A～N の記号で表記する）の、2014 年度・2015 年度の運動会前後の月の園便り・クラス便り（運動会特別号含む）を合計 48 枚（通常の園便り 23 枚、運動会特集号の園便り 3 枚、通常のクラス便り 15 枚、運動会特集号のクラス便り 7 枚）を収集した。幼稚園のお便りのみとした理由として、0 歳から 6 歳までいる保育所・認定こども園と、幼児のみの幼稚園では、子どもの育ちや保育のねらい・意図に関する記載事項が異なると考えたからである。

なお、本研究では、収集したお便りを園便り・クラス便りと分けるのではなく、その月に園で発行された園便り・クラス便り・運動会便り等全てを「お便り」とし、園単位の分析を行った。その理由は、第一に、収集したお便りを見ると、園便りの中にクラス便りも含まれている園、クラス便りしか発行されていない園など、お便りの発行の仕方が園によって異なっていること、第二に、園便りの書き手についても、園長が全て書いている園もあれば、担任が持ち回りで書いて園長のチェックを受ける園などがあり、園で発行されたお便りをトータルで検討していくことが必要であると考えたからである。

【分析方法】最初に、研究協力園の全てのお便り（園便り・クラス便り）に記載されている文章を意味内容ごとに分節化した。その上で、①幼稚園のお便りにおいて運動会についてどのような内容が記載されているのかについて、質的分析<sup>32)</sup>を行う。また、園により記載の内容にどのような違いがあるのかについても検討する。②運動会にかかわる記載で、どのような文章の書き方をしているのか、文末表現に着目して検討する。文末表現は状況に依存しないで話し手の情緒を示していることから<sup>33)</sup>、園のメッセージの伝え方が現れやすいと考えるからである。

結果

1.運動会のお便りの記載内容

表1.運動会前後の園だより・クラスだよりにおける、運動会に関する記述内容

	オープンコード	記載例	A園 c-1 c-2	B園 c-1	C園 a	D園 c-1	E園 c-1	F園 c-1	G園 c-1 c-2	H園 b	I園 c-1	K園 a	M園 c-1	N園 c-1	園数
運動会前	活動や競技	活動や競技の内容	今年には「うんどうかいのヒーロー」という曲に合わせて踊ります。												12
	子どもの姿	表情・様子・言葉	周りの応援に手を振りながら走る子どもなど、様々な姿を見せています												9
		思い・考え・感情	年中組は、昨年度の経験を思い出し、カー杯取り組むことを楽しんでいます												9
		育ち・経験（自園）	運動会への取り組みを通して、「体を動かすって気持ちがいい！」と感じています												9
		育ち・経験（一般）	苦労してきたことは大きな自信になり、もっとやってみようという意欲を育みます。												3
		保育者の考え・思い	保育のねらい・意図（自園）												9
	保護者への伝え・思い	保育のねらい・意図・説明（一般）	幼稚園は遊びを中心とした具体的な活動を通して総合的な指導をする教育です。												3
		保育の感想	保育のねらい・意図・説明（一般）												2
		お知らせ	雨・雨・雨、運動会の練習が思うように進みません。先生方は、とても困っています。												12
		もちもの・服装・当日の動きのお願い	（実施するかどうかは）午前6時30分に決定し、直ちにメール連絡網を送信します												12
運動会後	子どもの姿	応援・見守り・参加のお願い	水筒、プログラムも持参してください。												10
		マナー等について	誰でもお楽しみいただけるプログラムですので、大勢の方のご参加をお待ちしております。												3
		行動・表情・言葉（運動会前）	特に5歳児ではこれまでに様々なドラマがありました。												6
		行動・表情・言葉（運動会後）	運動会での経験を思い出しながら、自分が興味をもった活動に取り組んでいます。												8
		思い・考え・感情	また、バレーボールを持たせてもらったり、中をくぐらせてもらったりして大喜び！												7
	園・保育者の考え・思い	育ち・経験（自園）	周りの友達とざりげな動いてくれたからこそ、組体操がやり遂げられたんだと感じています。												6
		感想	子どもたちが一回りも一回りも大きく成長する機会になりましたことをうれしく思います。												7
		保育のねらい・意図	この経験を大切に、ここで培った自信を次の活動に生かしていきたいと思っています。												4
		保育の振り返り・反省	ご意見やご提案を来年度に生かしていきたいと思っています。												3
		保護者へのお礼	運動会ではたくさんのご声援、ご協力をありがとうございました。												9

注1)運動会前のお便りは12園分、運動会後のお便りは9園分である

注2)園名の下アルファベット小文字は、「子どもの姿」と「保育のねらいや意図」の記載の有無によるグループである

注3)○:記載あり 空欄:記載なし ー:お便りなし

最初に、運動会のお便りにおける記載内容を分類したものを表1に示す。以下、焦点コードは【】オープンコード（以下 op）は〔〕で示す。記載内容は、運動会前のお便りでは3の焦点コードと12の op が見られ、運動会後のお便りでは3の焦点コードと8の op が見られた。

## 運動会前

### (1)お便りの記載内容

運動会前のお便りには【活動や競技の内容】【子どもの姿】【園・保育者の考え・思い】【保護者への伝達事項・お願い】が見られた。

#### ①子どもの姿

【子どもの姿】については〔表情・様子・言葉〕〔思い・考え・感情〕〔育ち・経験（自園）〕〔育ち・経験（一般）〕の op が含まれている。

まず〔活動や競技の内容〕については、子どもの活動や競技の内容の事実を伝える内容であり、全ての園でみられた。競技内容を記載している園の中には、運動会の種目における子どもの動きや立ち位置などを中心的に記載している園が5園で見られ、さらに種目ごとに子どもの育ちや運動会での見どころを記載している園が5園みられた。どの位置から入場してどのように動くか、集合場所などが書かれていることから、保護者が見通しをもち、自分の子どもの姿をしっかりと見るができるようにと園が考えていることが伺える。

次に〔表情・様子・言葉〕については、活動における子どもの様子を言葉や表情を含めて記載したものであり、12園中9園で記載があった。具体的に子どもの様子を書くことによって、保護者が子どもの園での姿をイメージしやすくなるよう配慮していると考えられる。中には「子どもたちは運動会本番に向けてお家の人に見てもらいたい！という気持ちや、運動会を楽しみにする気持ちが更に高まったようです。（D園）」のように、子どもの保護者への思いを記載している園（12園中2園）や、「今年の運動会で行う競技や、係の仕事について話し合って決めました。皆、やる気いっぱい、友達と誘い合ってリレーを始め、思い切り体を動かすことを楽しんでいます。（B園）」のように、子どもの育ちや経験に関する解説はないものの、表情や様子に関する表現の中に、「やる気」「思い切り体



動かす」など、運動会までの子どもの育ちを込めた表現をしている園が多く見られる（12園中10園）。

〔思い・考え・感情〕については、12園中9園で記載がみられ、子どもの言葉や表情に加え、子どもの心情を保育者が代弁し保護者に伝えるような表現がみられた。特に、「子どもたちの話す中で、「あと何回幼稚園に来たらうんどうかいだ！」「早くやりたい！」と、わくわくする気持ちが半分、「係の仕事、ドキドキするな」（中略）と心配や緊張する気持ちが半分。一人一人、様々な心境なんだということが伝わってきました。

（B園）」「リレーやかけっこでは、「頑張るぞ！負けないぞ！」と期待に胸を膨らませている姿の一方で、友達と競い合って走ることに気が引けている様子もありましたが（F園）のように、不安や緊張などネガティブな子どもの心情について記載している園（12園中5園）も見られる。

そして、〔育ち・経験（自園）〕〔育ち・経験（一般）〕については、活動を通して子どもの中に育っていることを保育者が読み取って記載したものである。「運動会への取り組みを通して、「体を動かすって気持ちがいい！」と感じています（B園）」「クラス対抗で行う玉入れでは、高いかごを目掛け、一生懸命に投げる子どもたち。（中略）思うように投げられない、なかなか入ってくれない、そんなもどかしさも感じつつ、遊ぶ中で“どうやったら入るのか”ということも、経験することで学んでいます。（F園）のように、多くの園で子どもの具体的な様子と子どもの育ちをつなげて記載している（12園中9園）。また「苦勞してできたことは大きな自信になり、もっとやってみようという意欲を育みます。加えて、苦戦している 友達の気持ちに心から寄り添い、できたときに一緒に喜べるようになります（A園）」のように、子どもの具体的な事例は挙げないものの、運動会の中で育つことについて一般的・普遍的な解説を記載している園もみられる（12園中3園）。運動会当日や直前のことだけでなく、運動会までの過程において子どもがどのように育っているのかについて記載することで、保護者にも当日の結果・成果だけでなく子どもの育ちへの過程に目を向けてもらいたいという意識があると考えられる。運動会までの子どもの育ちについて記載している園では、自信・意欲・体を動かす気持ちよ



さ・信頼関係・持続力・協同性・試行錯誤など、何かができるようになったという能力としての成果ではなく、目に見えない部分の育ちについて記載している。

## ②園や保育者の考え・思い

【園・保育者の考え・思い】については「保育のねらい・意図（自園）」「保育のねらい・意図（一般）」「保育の感想」がみられる。

「保育の感想」については2園で見られ、雨・雨・雨。運動会の練習が思うように進みません。先生方は、とても困っています（C園）のように、運動会に向けての感想が見られる。「保育のねらい・意図」については、運動会に向けた自園における保育の方針や、ねらい・意図を具体的に記載している（12園中9園）。例えば、「あ～!走るって気持ちよい」これ「ゴールテープに向かって走りきった子どもが呟いた言葉です。4歳児で、体を動かすこと、走ること心地よさを味わったり楽しんだりする経験を大切にしています（A園）のように、園便りよりもさらに具体的な運動会当日の種目において、子どもたちに経験して欲しいことや・練習の過程で子どもが経験してきたことが、具体的なエピソードや子どもの言葉と共に書かれている。具体的なエピソードを書くことで、運動会当日保護者に、運動会や各種目を楽しむためのみどころやどのような子どもの姿を見て欲しいかを示していると考えられる。

そして、行事を行う上で大切にしていることは、一学期から楽しんで取り組んでいた遊びや体験を生かすことで、子どもたちが主体的に取り組めること、さらに子どもたち一人一人に溜め込まれた力を集結させることで、みんなでやり遂げた達成感や満足感を味わうことを「目標」にしています。（D園）のように、運動会やそれまでの過程において育てていきたいことや経験して欲しいこと、どのような保育を行っていくのかという方針について記載されている。B・F・G園は子どもに経験して欲しいことや感じて欲しいことを、A・D園は子どもに経験して欲しいことや感じて欲しいことに加え、どのように保育を行っていくかという保育方針も書かれている。さらに、I幼稚園では、先生が決めたことを子ども達にやらせるよう訓練する種目はありません。ですから「うんどうかいのれんしゅうした」と子ども達が言っても、普通のイメージとはだいぶ違うとおもいます。もちろん「負けるのがいやだ」「うまくできるかな？」などいろいろなプレッシャーを感じている子はいます。しかし、それらはいわば自分とのたたかいです（I園）のように、一般的な運動会のイメージ・概念というものが保護者の中にあることについて念頭に置きながら、自園の運動会がどのようなものであるか、ま

たそれが子どもの育ちとどのように関連しているのかについて説明している園もみられる（12園中2園）。

〔一般的・普遍的な保育に関する事項〕については、幼稚園は遊びを中心とし具体的な活動を通して総合的な指導をする教育です。楽しみながら自分から繰り返し取り組むことが子どもたちの成長につながります（E園）のように、保育の普遍的な事項を紹介しながら、自園の保育を説明している園もある（12園中3園）。

### ③保護者へのお知らせ・お願い

【保護者へのお知らせ・お願い】については、〔お知らせ〕〔もちもの・服装・当日の動きのお願い〕〔応援・見守り・参加のお願い〕〔マナー等についてのお願い〕のopがみられた。

〔お知らせ〕は、いつどこで運動会が開催されるのか、集合時間等についてのお知らせであり、全ての園で記載がみられた。また、〔もちもの・服装・当日の動きのお願い〕については、運動会当日の持ち物や服装、また競技によって会場のどこに子どもを連れていくのかを知らせる記載であり、全ての園で記載がみられた。そして、〔マナー等についてのお願い〕については、演技中にコート内に立ち入っての写真撮影等、他の人の迷惑になるような行為はご遠慮下さい（C園）や、敷物は各ご家族1世帯分のみとさせて頂きます。グラウンドの広さにも限りがございますので、敷物の大きさを守ってご利用下さい（D園）のように、運動会を見る際の注意事項を記載している園も見られる（12園中3園）。運動会は保護者の関心が高く、家庭生活も多様化していることもあり、運動会の持ち物や集合時間だけでなく、席やビデオに関するマナーなどの周知に関するお願いなど、運動会に参加する保護者のために詳細に書く必要がある園もあると考えられる。

〔応援・見守り・参加のお願い〕については、12園中10園で記載が見られた。中には、子どもたち一人一人のがんばる姿にご声援いただくとともに、保護者の皆様が力を合わせ、競技を盛り上げ楽しむ姿を子どもたちに見せていきましょう（E園）のように、運動会は子どもたちだけが頑張ったり楽しむ行事ではなく、保護者や家族も一緒に参加したり楽しんだりする行事であることを、参加や応援を促すことで伝えている記載も見られる（12園中2園）。また、運動会の見どころ・目のつけどころ：ほんの瞬間のいい顔を見逃さずに、ぜひ目で見て欲しいです。カメラやビデオをのぞきながら見るのとは、全然違いますよ。記録より記憶♡（B園）のように、保護者の子どもを見る視点・姿勢についてのおお願いも見られ、運動会に参加する際にどのように子どもを見て欲しいかを間接的な表現で伝えている園もある。そして、当日の仕事の見栄えや活動の長短ではなく、友達の中でしっかりと

力を出してやり遂げていく姿をとどうぞあたたかく見守り、応援してください（A園）のように、運動会当日にポジティブではない子どもの姿がみられても見守って欲しいという記載や、上手下手ではない視点で子どもを見て欲しいという記載もある（12園中5園）。

## **(2)「子どもの姿」と「保育のねらいや意図」の関係に特徴がある園の検討**

運動会前のお便りには「子どもの姿」「保育のねらいや意図」「保護者へのお知らせやお願い」について記載されていることを示した。特に運動会前のお便りにおいては「子どもの姿」と「保育のねらいや意図」については共に書かれている園が見られることから、「子どもの姿」と「保育のねらいや意図」がどのような関係で書かれているのかについて検討する。表1における園名の下のアلفベット（小文字）は、「子どもの姿」と「保育のねらいや意図」の記載の有無によるグループである。

①a「子どもの姿」「保育のねらいや意図」共に記載なし（C園・K園）：C園は、子どもの姿や保育のねらい・意図は、お便りに記載していない。運動会実施日や場所などのお知らせと、運動会運営上のお願いや注意事項、マナー等を細かく記載している。K園は、運動会の実施日や場所のお知らせを中心に記載している。

②b「子どもの姿」記載あり・「保育のねらいや意図」記載なし（H園）・保育者の目線で子どもの姿（動きや表情など）を伝えながら、保護者が運動会を楽しみにできるようにしている。ねらいや意図についての記載はないが、園として「運動会を通して育ってほしいこと」への期待が読み取れる部分もある。

③c-1/c-2「子どもの姿」「保育におけるねらいや意図」共に記載あり（A B D E F G I M N園）：A B D E F G I M N園（c-1）は具体的な事例を挙げ、子どもの育ちの過程を踏まえた上で「保育における指導の意図」を伝えている。園によっては一学期からの生活や遊びとのつながりについても記載している。身体を動かして楽しむこと、一生懸命頑張ることなど、運動会や運動会までの保育におけるねらいや意図を読み取ることができる。A・D・G園（c-2）については、特に保育についての一般的な記載を含めながら子どもの育ちについて説明している。

## **運動会後**

### **(1)お便りの記載内容**

運動会後には【子どもの姿】【園・保育者の感想・ねらい・意図】【保護者へのお礼】の3つの焦点コードがみられた。

#### **①子どもの姿**

【子どもの姿】には〔子どもの様子〕〔子どもの思いや考え〕〔子どもの

育ち〕についての op がみられる。まず、〔子どもの様子〕については、運動会前の子どもの様子についての記載と、運動会後の子どもの様子についての記載がある。運動会前の子どもの様子については、5 歳児ではこれまでの生活の中に様々なドラマがありました。（中略）ルールがわからずに 2 回走ってしまう。走った後に座らないと等チームにとって困ることがたくさん出てきました。はじめはそのことに対して友達を責めたり、やけになってバトンを投げたりして思い通りにならないことに戸惑っている様子が見られました（G 園）のように、運動会までの過程における子どもの葛藤やトラブル、失敗といった子どもの姿を取り上げている園が 12 園中 6 園でみられた。そして、運動会前の子どもの様子について記載している場合は、その一つ一つの出来事を友達や先生と一緒に思いを出し合って解決をしていきます。そうすることによって、相手の気持ちに気がついたり、自分の行動について考えたりする様子が見られるようになってきました。（G 園）のように〔子どもの育ち〕についても合わせて記載がある（12 園中 6 園）。運動会前には保護者に伝えないほうがよいと判断したことも、運動会後だからこそ子どもの育ちや経験と共に伝えていると言える。そして、運動会後の子どもの様子については、運動会での経験を思い出しながら、自分が興味をもった活動に取り組んでいます。（F 園）のように、運動会での活動や経験が運動会後の生活にも連続的につながっていることを示す記載がみられる。

## ②園・保育者の考え・思い

【園・保育者の考え・思い】には、〔保育の感想〕〔保育のねらい・意図〕〔保育の振り返り・反省〕の op がみられる。まず〔保育の感想〕については、最後に登場したのは年長組さん。細かいステップや難しいふりを堂々と踊っている姿は「さすが年長さん!!」と思わせる演技でしたね。組体操もとても上手で感動しました（H 園）のように、運動会を終えた後の保育者の感想が記載されている園が 10 園中 8 園でみられた。保育者も保護者と同様に子どもの成長を喜んでいることを伝えていることがわかる。また、一学期は教師が鬼をしていましたが、その年少児が鬼自体を楽しんでいる様子に、友達関係の広がりを感じ（中略）そこで得た達成感や満足感の積み重ねは、子どもたちの自信につながり、社会性の育ちとなることを実感したところで

す(D園)のように、子どもの経験や育ちを感想として記載している園もある。次に〔保育の意図・ねらい〕については、運動会の余韻を味わい、また園外に出てたくさんの不思議と出会い、これからも充実した楽しい園生活が送れるように努めていきたいと思います(G園)のように、運動会後にどのように保育をしていくのかという意図や方針を伝える記載が9園中4園で見られた。幼児期の教育が生活の連続性のなかで行われているものであることを保護者に知らせていると考えられる。そして〔保育の振り返り・反省〕については、改善についてのご意見につきましては一層充実した運動会になるよう検討していきたいと思います(G園)のように、保護者からの意見をもとに運動会を振り返ることについての記載であり、12園中3園で見られる。

### ③保護者へのお礼

運動会前は、保護者に対してのお知らせやお願いが記載されていたが、運動会後には全ての園で〔お礼〕に関する記載がみられる。大勢のお客様や保護者の皆様の応援、ご声援を頂き、運動会は大成功で終了致しました。子どもたちは自分のもてる力を発揮し、学年や全学年でやり遂げた達成感、満足感を味わい、また一つ成長することができました。ありがとうございました(D園)のように、子どもたちへの声援や温かい眼差しに感謝するものや、運動会の手伝いや種目への参加に感謝するものがみられる。保護者への感謝を伝えることにより、保護者もまた園の教育に関わっているということのメッセージとなると考えられる。

## Ⅱ.お便りの記載方法（文末表現）のパターン

次に、保護者への伝達機能を持つお便りがどのような書きかたをされているかについて、文末表現と書き手の目的に着目して検討する。

### ①参加語りかける・巻き込む

参加の依頼（「共に」を示して促す）

「親子で力を合わせて、勝利を目指して頑張りましょう！」（E園）

参加の依頼(同意を求める・語りかける)「お家の方に頑張ってください競技もありますので、はりきってご参加くださいね。」（H園）

感想の伝達（同意を求める）

「4月からの成長を感じる1日でしたね。」（H園）

見て欲しいものの伝達（注目を促す）

「子どもたちの作品が、運動会を素敵に飾ります！」（E園）

感想の伝達（注目を促す）

「のびのび思いっきり楽しむことができた運動会となりました！」(G園)

感想の問いかけ（同意を求める・語りかける）

「いろいろな姿を見て頂けたのではないでしょうか。」（H園）

「ね」「～しましょう」「～でしょうか」や「！」が付く文末表現は、同意を求めたり問いかけたり、注目を促すなど、読み手である保護者に対して一体感を持たせる表現として使われていると考えられる。特に、子どもの姿についての記載や、親子競技への参加を促す際に使用されている。

### ②明確にお願いや園の考えを伝える

参加の依頼（明確に伝える）

「是非、奮ってご参加下さい」（D園）

「始まる前までに園児席前に担任がおりますのでお集まり下さい。」(J園)

思いの伝達（明確に伝える）

：「心も強く、広くなるのです。」（A園）

「ください」「お願いします」「～です」といった語尾は、はっきりと保護者に参加を促したり、園の考えを示したりする際に使用されていると考えられる。特に、お知らせや持ち物など、運動会を実施する上で必要なことをお願いする際には、どの園でも「ください」「お願いします」が使用されていた。



### ③婉曲的・謙讓的にお願いや園の考えを伝える

#### 思い・方針の伝達（婉曲的に伝える）

「普通のイメージとはだいぶ違うと思います」（I園）

「こうした機会を大切にしたいと改めて感じています」（B園）

#### 参加の依頼（丁寧に伝える）

「大勢の参加をお待ちしております」（B園）

#### 声援の依頼（丁寧に伝える）

「温かいご声援をいただけますようお願い申し上げます」（G園）

「思います」「感じています」「お待ちしております」「お願い申し上げます」といった語尾は、「ください」「お願いします」「～です」と同様に園の考えを伝えたりお願いをしたりする際に用いられている。ただし、「ください」「お願いします」「～です」よりも遜ったり丁寧な印象を与えると考えられる。

このようにお便りの文末表現は、園が保護者に何を伝えたいかによって使い分けられていると考えられる。それから、同じ参加を呼びかける内容でも、「大勢の参加をお待ちしております（B園）」「是非、奮ってご参加下さい（D園）」「親子で力を合わせて、勝利を目指して頑張りましょう！」（E園）「お家の方に頑張ってください競技もありますので、はりきってご参加くださいね。」（H園）のように、園によって文末表現の使い方が異なるものもみられた。

## 総合考察

本研究では、幼稚園が運動会のお便りを通して何をどのように伝えているのかを検討した。その結果、運動会前のお便りの内容は、子どもの姿・園や保育者のねらいや意図・保護者へのお願いやお礼が主に記載されていた。そして、園により、「お知らせやお願いの記載が中心の園」と「子どもの姿や保育の意図の記載が中心の園」がみられることが明らかになった。

お知らせやお願いが中心の園については、細かく注意事項やマナーを記載することによって子どもたちの運動会が充実したものになるようにという思いがあると考えられる。特に、運動会が鼓笛隊など特別活動の発表の場でもある園においては、運動会をスムーズに遂行するためには、子どもの集合・解散、着替えなどについて保護者の協力が必要不可欠であり、前もって当日の動きなどについての詳細を伝えておくという役割をお便りが果たして



いると考えられる。

また、子どもの姿や保育のねらい・意図に関する記載が中心の園では、子どもの様子と共に保育の意図が記載されていることが多くみられた。運動会当日の子どもの姿だけでなく、運動会までの過程における子どもの経験や、園や保育者が意識していることを伝える役割を、お便りが担っていると考えられる。特に、運動会前のお便りでは、子どもが不安や緊張、葛藤などを抱えていることに加え、不安や葛藤などが子どもの育ちにどのように繋がっているのかについての解説を記載していた。また、運動会当日だけではなく、これまでの生活を通した育ちの積み重ねの中で運動会に向かっていること、運動会までの過程で子どもが様々な経験をしていることが記載されていた。運動会当日の成果に期待している保護者にとって、気付きにくい部分や見えづらい部分を、園がお便りを通して記載していると考えられる。

そして、お便りの内容を伝える際に、目的に応じた文末表現を用いていることや、園によって文末表現に違いがあることを明らかにした。幼稚園は、お便りにおいて何を伝えるのかという内容だけでなく、どのように伝えるのかについても工夫をしていた。このことから、お便りは園から保護者に渡されるものとはいえ、単なる一方的な伝達手段としてではなく、園が保護者とのコミュニケーションを取る手段としてのコミュニケーション・メディアであることが示唆される。

## 今後の課題

最後に、本研究の限界と課題を3点示す。第一に、本研究は運動会という行事に着目して園便りの分析を行った。しかし、他の行事や日々の生活における子どもの姿や保育の意図をどのように伝えているのかについては検討していない。今後の課題として、運動会以外の行事や生活に関わるお便りについても検討する。

第二に、お便りはクラス便りや学年便りなど書き手によってもそのなかで取り上げられる内容や書き方なども異なってくる可能性がある。書き手の経験年数や、園独自のお便りの書き方マニュアルやフォーマットがあるか、市販のお便りの書き方書籍などの利用の有無など、誰がどのように書いているのか、また園の中で分業しているのかを合わせて調査することが必要であると考える。

第三に、本研究ではお便りの受け手側としての保護者が、どのように園便りを通して園の教育・保育を理解しているのかについての検討はできなかった。今後は、園の伝えたいことが保護者にどう伝わっているのかについて検討する。

## 引用文献

- 1) 文部科学省（2018）幼稚園教育要領.フレーベル館.
- 2) 厚生労働省（2018）保育所保育指針.フレーベル館.
- 3) 内閣府（2018）幼保連携型認定こども園教育・保育要領.フレーベル館.
- 4) 林悠子（2009）連絡帳の記述に見る保護者と保育者の関係変容過程.乳幼児教育学研究 18.121-181.
- 5) 高杉展（2009）連絡帳という記録をどう読み取るか.保育学研究 47(2).248-250.
- 6) 田中亨胤・三宅茂夫（2001）園便りにみられる教育メッセージ.学校教育学研究 13.99-107.
- 7) 太田雅子・中島賢介・山森泉（2003）「園便り」を通しての家庭との連携・コミュニケーションのあり方の考察-キリスト教保育における共に造り出す保育をめざすために-. 北陸学院短期大学紀要 35.23-35.
- 8) 柴崎正行・会森恵美（2016）保育所における保護者支援について-「クラス便り」の分析を通して. 大妻女子大学家政系研究紀要.157-162.
- 9) 堀田博史・堀田龍也・石塚丈晴・高橋純（2006）幼稚園 Web サイトで発信されている情報の変化 ― 2000 年度と 2005 年度の比較―.教育メディア研究 13.53-62.
- 10) 辻谷真知子・秋田喜代美・砂上史子・高木恭子・中坪史典・箕輪潤子（2017）幼稚園ホームページの記述スタイル:子どもの姿を描く、常設の項目と更新する項目に着目して.国際乳幼児学研究 24.73-88.
- 11) ベネッセ(2015)園での経験と幼児の成長に関する調査.14.
- 12) 前掲(6)
- 13) 前掲(6)
- 14) 前掲(8)
- 15) 前掲(7)
- 16) 前掲(6)
- 17) 前掲(8)
- 18) 前掲(1)
- 19) 前掲(2)
- 20) 前掲(3)
- 21) 森上史朗・柏女霊峰編（2013）保育用語辞典.
- 22) 及川智博・川田学（2015）運動会練習初期における活動規範の形成と共有：幼稚園の運動会における遊戯に着目して.子ども発達臨床研究 7.37-47
- 23) 吉見俊哉（1999）ネーションの儀礼としての運動会. 吉見俊哉・白幡洋三郎・平田宗史・木村吉次・入江克己・紙透雅子著『運動会と日本近代』青弓社.7-54.
- 24) 平田宗史(1999)わが国の運動会の歴史. 吉見俊哉・白幡洋三郎・平田宗史・木村吉次・入江克己・紙透雅子著『運動会と日本近代』青弓社.85-128.
- 25) 佐藤秀夫(2005).教育の文化史 2 学校の文化.京都:阿吽社.

- 26) 柴崎 正行・田代 和美(1992)わが国の幼稚園における運動会の起源について.保育学研究 30.117-127.
- 27) 箕輪 潤子(2017)戦前の幼稚園における運動会の教育的意義に関する一考察:保育雑誌『幼児の教育』の1930年代の記事から.武蔵野教育学論集.武蔵野大学教職研究センター 3.33-41.
- 28) 近藤 充夫・渡辺 真一・中西 雅俊（1983）一斉指導で楽しく展開する 幼児の運動 3 かけっこ・プール・運動会.フレーベル館.72-79.
- 29) 秋田 喜代美(2010)園のくらしを育む.日本の保育文化(1)運動会.幼児の教育 109.28-31.
- 30) 紙透 雅子(1999)幼稚園に運動会はいらない. 吉見 俊哉・白幡 洋三郎・平田 宗史・木村 吉次・入江 克己・紙透 雅子著『運動会と日本近代』青弓社.199-225.
- 31) 金田 正一(2000)幼稚園の運動会の観客調査.日本保育学会大会研究論文集 53.858-859.
- 32) 佐藤 郁哉(2008)質的データ分析法—原理・方法・実践.新曜社.
- 33) 横野 光(2005)情緒推定のための発話文の文末表現の分類.情報処理学会研究報告 自然言語処理 117.1-6.

謝辞：お便りをご提供いただいた幼稚園の皆様に、心より御礼申し上げます。

付記 1：本研究は公益財団法人野間教育研究所の幼児教育研究部会のプロジェクトの一環として行われたものである。

付記 2：本論文における内容の一部は日本乳幼児教育学会第 27 回大会自主シンポジウムで発表したものである。